

県老連表彰等授与式・県老連芸能発表大会

一、〇〇〇人の参加者で盛大に開催



県老連主催の表彰等授与式と芸能発表大会は、9月25日(水)、リンクステーションホール青森で開催された。松崎徹県老連会長の主催者挨拶の後、県知事表彰・県老連会長賞等が行われ、県知事表彰は福士聡課長から5人の方々に手渡された。本町老連からは、県老連会長表彰で4名の個人受賞者があり、個人受賞者84名を代表して小畑長寿会成田早苗会長が、壇上で松崎会長から表彰状が授与された。受賞者は次の方々です。

受賞者	単位クラブ名	表彰区分
成田 早苗	小畑長寿会	個人表彰
間山 由吉	福島老人クラブ第二	"
三浦 進	徳下徳寿会	"
齋藤 剛一	三ツ屋老人クラブ	"



代表で受賞した成田早苗氏

三村伸吾青森県知事祝辞

代読 県高齢福祉保険課 課長 福士 聡氏

また、中南部老連関係の表彰者として、町村老連会長を務められた特別感謝受賞者として、澤田美一氏(西目屋村)、岩崎さつ氏(大鰐町)のお二人が受賞した。授賞式が終わり、県知事より祝辞があった。

本日、表彰を受けた皆様におかれましては、永年にわたり老人クラブ発展のためご尽力されたことに、敬意を表すると共に、心から感謝申し上げます。また、ご出席された皆様には、日頃から老人クラブ活動を通して高齢者に生き甲斐づくりや地域を豊かにする社会活動に取り組みされていることに、厚くお礼申し上げます。

このため青森県では、すべての団塊世代が75歳以上となる二〇二五年以降の超高齢化社会を見据え、県民の誰もが地域で安心して老後を迎えることができる青森県型地域創生社会の実現を目指して、取り組みを進めると共に、平成30年3月に策定した「おもい高年齢者すこやか自立プラン18」に基づき、高齢者の方々が将来にわたって生き甲斐をもち将来も活躍して頂けるような環境づくりとその準備に取り組んで参ります。老人クラブ会員の皆様におかれましては、今後とも老人クラブ活動に積極的に取り組んで頂くとともに、高齢者同士で互いに必要な支援し合うことで地域社会を活性化させるため、より一層ご活躍すること期待您的ものであります。

発行者 藤崎町老人クラブ連合会 広報委員会 藤崎老人福祉センター内 電話 七五-三三三三

に、平成30年3月に策定した「おもい高年齢者すこやか自立プラン18」に基づき、高齢者の方々が将来にわたって生き甲斐をもち将来も活躍して頂けるような環境づくりとその準備に取り組んで参ります。老人クラブ会員の皆様におかれましては、今後とも老人クラブ活動に積極的に取り組んで頂くとともに、高齢者同士で互いに必要な支援し合うことで地域社会を活性化させるため、より一層ご活躍すること期待您的ものであります。



藤崎町老連 藤崎音頭



八戸市老連 合唱 ラブユー東京

し、華麗で優雅な演目を披露した。今回の演目で注目されたものは、青森市の大島百合子氏の「語りキンキラキンのキン、毒薬と毒消し」で、絶妙な津軽弁での頓知話を披露し拍手喝采を受けた。また、平川市老連では小鳥の啼き物真似は異色で注目された。演目の傾向は、集団演技で、舞台いっぱいを使っている迫力のある演技が多くなり、一糸乱れぬ演技は練習の成果と努力の向上が見られた。



田子町老連 唄 道南口説

出演数は県老連で決定し、六郡老連は各2演目が割り当てられ、中南部老連では大鰐町老連と藤崎町老連が1演目ずつ出演した。

出演された演目	出演数
演目	25
舞踊	9
歌	1
語り	1
ラインダンス	2
社交ダンス	1
コーラス	1
物真似	1
囃子	1

65歳からの脳トレサロン

歌や音読、簡単な計算などで頭の体操をします。懐かしの歌を皆で歌い、おやつタイムでおしゃべり。楽しいレクリエーションもあります。今月の内容(両会場とも同じ内容になります)。(1) 歌 「りんごのひとりごと」他 (2) 音読 「学問のすすめ」(福沢諭吉) (3) 計算 「足し算・引き算」 (4) レクリエーション

レクダンスフェスティバルのお知らせ 一、日時 12月20日(水)、9時30分〜11時30分 二、会場 常盤老人福祉センター 三、その他 参加費一〇〇円(当日集金します) 四、連絡先: 藤崎町社会福祉協議会 Tel.65-2056

11月行事予定表		
日	曜	行 事
1	金	役員会 10:00 芸能部 12:00
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	日本舞踊部 12:00 囲碁・将棋部 12:30
6	水	茶道部 13:00
7	木	囲碁・将棋部 12:30
8	金	芸能部 12:00
9	土	
10	日	
11	月	生け花部 10:30 ふじ健大OB会 13:00
12	火	日本舞踊部 12:00 囲碁・将棋部 12:30
13	水	茶道部 13:00
14	木	囲碁・将棋部 12:30
15	金	
16	土	秋まつり
17	日	秋まつり
18	月	
19	火	日本舞踊部 12:00 囲碁・将棋部 12:30 広報委員会 13:30
20	水	
21	木	囲碁・将棋部 12:30
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	芸能部 12:00
26	火	日本舞踊部 12:00 囲碁・将棋部 12:30
27	水	
28	木	囲碁・将棋部 12:30
29	金	芸能部 12:00
30	土	【白寿】配布日 12時以降

第九回町老連・中南部老連芸能発表会のお知らせ 今年度の芸能発表会は町老連・中南部老連と共催で開催致します。 一、日時 12月22日(日) 午前10時〜午後3時 二、会場 藤崎町文化センター大ホール 三、出場資格 老人クラブ会員 四、出演について (1)種目 唄(2コーラスまで)、民謡、舞踊、寸劇、コント、その他 (2)出演回数 一人1回、但し、個人並びに団体種目で出演する場合はその限りでない。 (3)出演時間 1種目5分以内とする。 (4)申込〆切 11月30日(土) 両福祉センター窓口まで (用紙を準備しております) 出演については、個人、単位クラブばかりでなく、専門部、女性部、委員会からの出演を期待しています。 五、その他 入場料 無料です。 抽選会 観覧者には沢山の賞品を差し上げます。 ※プログラムは12月15日発行の「広報ふじさき」お知らせ号に折込で配付します。 お誘い合わせの上、多数の方々の観覧をお願いします。

女性部便り 三事業を終えて

研修旅行・健康講座・体験コーナー

一、研修旅行
女性部の事業の待ちに待った楽しい研修旅行は、6月18日(火)、参加者35名で、おなじみの「RAB青森放送」に行ってきました。テレビ局長の森内真人氏の説明を聞き、朝の番組「ZIP!」「ニュースリーダー」のスタジオを見学しました。



令和元年度 女性部研修旅行 (RAB 青森放送)

ラジオ放送局の面積は東北一で、民間放送でラジオ放送開局は東北で最初だそうです。古い歴史を持つ当局は、情報をいち早く正確に伝える機材や体制が整っていること等の説明を聞き、有意義な1時間30分でした。

二、健康講座

その後は平内町に向い、懇親会場である夜越山温泉で昼食を食べ、入浴し、ゲームをみんなで楽しく行い、帰りには道の駅「ゆきさ浅虫」でお土産を買い、楽しい一日となりました。

三、体験コーナー
8月22日(木)、体験コーナーを23名が参加し行いました。内容は昔遊びの数々で、小箱・コマ・バラ・吊り飾りを作った脳の活性化を思い企画しました。

部長の挨拶から始まり、早速一つ目の小箱から取りかかり、山折り・谷折りと順序よく皆が折り始めましたが、箱の組み合わせの段階でちよつと手こずりました。午前中は休憩もせず一生懸命取り組んで、やっと一個を仕上げました。

夕食後も二つ目、三つ目と取り組んで、最後の吊り飾りは途中で終わりました。予定時間を超過してしまい、申し訳ありませんでした。作れずに残った所がありましたら完成させたいと思います。八月は町の行事のねぶた祭り・ながしこやお盆など、いろいろとご多忙の中でご参加下さり重ね重ねありがとうございます。

とがあるもので、法事に「わも、かででけ」と申し出たものだ。誰にも知らせなくとも、粉菓子5枚のお返しがあった。

古老が語る

「物知りの記録」(5)

大字榊地区

(平成3年11月28日収録)

古老3 (2)

81歳

仕事の休み

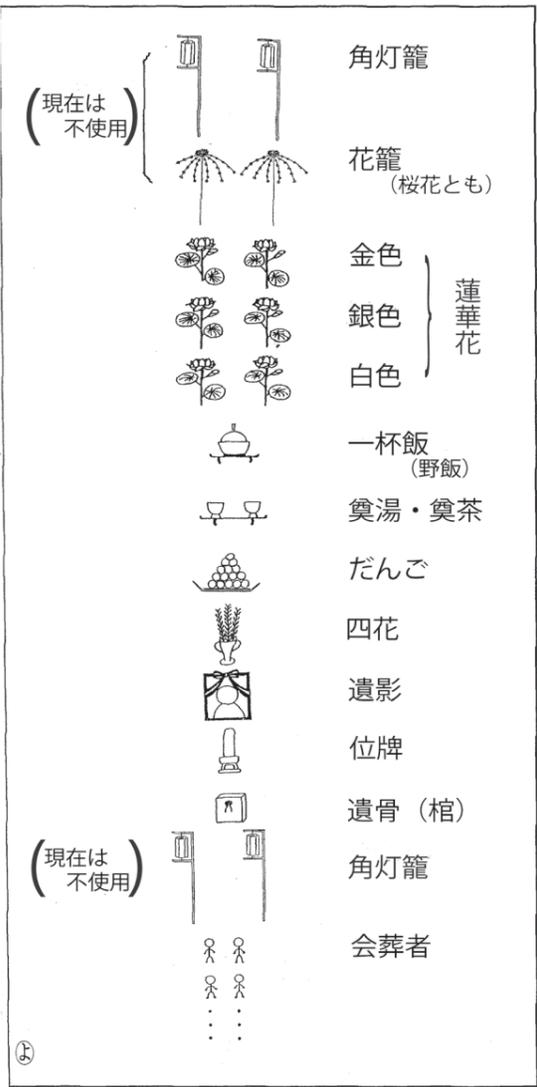
普通の人とは、1カ月に1回、午後から休む。15日でないとい仕事は休まない。八幡様でも

冬の雪囲い

今は、無くなったが「カリチヨ」という雪にかけた囲いである。藁や葦で編んで西の方角作って春に外した。昔は囲いをするのは大変であった。今は暖かく、吹雪が少なく、あまり寒くなかった。昔の家は、造りが粗末なので、雪が窓や戸の隙間から家の中に入ったものだ。

葬式

亡くなった家には、豆腐とかコンニャクを買ったものだ。村の人は、皆亡くなった家に、食べ物を持って手伝いに行つたものだ。それをみんな書き控えて、どこで油揚げ何丁、豆腐籠に持って行ったものだ。油揚げ、生豆腐、コンニャク、ユバなど持参したものだ。これを記録してお返しをしたものだ。



葬列のかたち (常盤村誌)

結婚式は、その家の器量でその人なりにやった。お膳をやった。「旦那衆」であれば人寄せのため、膳を用意してあった。別家等にも貸したものだ。布団でもなんでも「旦那衆」では揃えてあった。一〇〇人・一五〇人分も、瀬戸物などを揃えてあった。貧乏人は買えなかった。

お盆、正月

お盆は良いもの食わせる。休みは1週間もあつた。正月も同じく1週間あつた。休みといつても、午後だけで午前中は朝仕事をしている。その休みの時に、お湯を沸かして入浴したり、女性であれば洗濯する。

3年も入浴しない人もいた。湯銭の5銭がない。お湯に入るお金がたわしくて、お湯にも入れなかった。

小作人

農家は、ほとんど小作人、1反歩で3俵とられり収量がなかった。

遊び

昔、日本は日露戦争、日清戦争、10年毎に大海軍遊戯と陸軍遊戯で、陸軍には大将、中将とかがあつて、カザがあつてヒコーキのようなもので、その人が手をつけるタッチすると、大将でも中将でも皆、死んでしまう。これを学校でやったもんだ。手組み遊びは、手を組んでその上にあがつて肩に上げてやる。

「あすか」という遊びもあつた。竹馬のようなものである。竹トンボもあつた。水鉄砲、馬ソリを道路に持つて行って20人も30人も乗せじよつこした。十文字から、どこどこのはずれまでやるとか、家庭では小さいソリがあつて、子供達が遊ぶか物を運んだりした。

歯なしの話 92

「弱者」

いつの日も弱者は弱く、叩かれ、損をして泣きを見る。

佐藤 透

今もまた鹿児島県の児童が亡くなった。少し以前に「ゆるして下さい。」と懇願した女の子が亡くなり、日本中の皆様の涙をさそつたばかりだというのが、我々大人が、将来ある子ども達を守つてあげる事が出来ないものである。

歴史的にみると長期にわたり、伝染して皆を困らせる人達として隔離され続けてきた「癩病」の方たちがいる。病氣として伝染力が弱いのが分かつた最近まで隔離政策を強い続けてきたのは、病氣に対する虞や患者さんの見た目からくる恐怖からくるものなかもしれない。それにしても癩病の方たちは日本国民(法律家・医療関係者・教育者・宗教家達等々)が目を見かねてしまった結果、最近になってようやく皆さんに総理大臣が謝つたという次第である。

米国人にインディアンのことと言うと日本のアイヌ政策は誉められたものではないよと反撃される始末でタジタジとなる。

いじられ易いのがハンディキャップの方たちであり、同性愛者や一般の人々より別な行動や、少々のバランスを欠く考えの人たちであり、学校や社会ではなじめない方たちが多いように見受けられる。学問が進んできて、この方たちは何らかの病氣だったり、時には少しばかり枠から外れているだけの方たちであつたり、また、何となく弱い方たちは、いろいろに存在するが、そのいずれをも我々は手助けして守つてあげなければならぬのであろうと思う。

我が子が子供の時にしたように。：もう小さな子の死亡のニュースを見るのは、悲し過ぎる。!!

短歌

あき箱を三つ並べて衣替え
思い出残しひとつ手放す
藤村みち女

あの世から動画で届く衝撃夢
小舟の上で蛸の作業を
浅利 茂雄

すがすがし朝一番の深呼吸
今日の暮らしの開演幕開く
笹森 一郎

一輛と短いけれどこの町に
なくてはならぬ命の線路
福井 伝馬

戦闘機一機が数億円という
安保と抑止買わずアメリカ
清水稼志男